

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)八戸ノ里駅前計画新築工事	階数	地上11F
建設地	東大阪市下小坂5丁目	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域,準防火地域	平均居住人員	116 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅,	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2020年1月9日
敷地面積	1,328 m ²	作成者	TOKI設計 工藤貴紀
建築面積	581 m ²	確認日	2020年1月9日
延床面積	4,840 m ²	確認者	TOKI設計 鳴戸元基



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.0

Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.4

Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.2

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.4

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.2

3 設計上の配慮事項		
総合	周辺環境に調和し、圧迫感を出るだけ抑えたデザインとした。また、防音性に優れた仕様を採用する事により、快適性を確保する計画とした。	その他 特になし
Q1 室内環境	線路や商店街に隣接している為、専用部分に対して防音対策を重視している。使用建材をできる限りF☆☆☆☆を使用。	Q3 室外環境(敷地内) 植栽による良好な景観の形成
LR1 エネルギー	品確法省エネルギー等級3を取得可能な断熱対策	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率82%達成
Q2 サービス性能	耐用年数の高い給排水配管の使用。	
LR2 資源・マテリアル	躯体と仕上材が容易に分別可能な工法の採用	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0159

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)八戸ノ里駅前計画 新築工事					
		建設地	東大阪市下小坂5丁目					
		用途/区分	集合住宅					
【評価結果】		CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4		
②	みどり・ヒート アイランド対策					2		
③	建物の断熱性					3		
④	エネルギー削減					4		
⑤	自然エネルギー直接利用					○		
		再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	—	風力	—	地熱	—
			太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—
エネルギー消費量の報告						対象外		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.7	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				3.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				3.0	3	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				3.8	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	○	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	-	
その他								
		技術の名称			考慮事項			
先進的技術の導入								
特に配慮した事項		特になし						